

「わがまち風景賞」の趣旨

山紫水明の桐生市は、織都として古くからの歴史と伝統を持ち、恵まれた自然環境を背景にしたものづくりのまちとして独自の都市風景を形成してきました。

まちなかには繊維産業による繁栄の面影を留める産業遺産や文化遺産が点在し、400年前の町割りも良好に保たれて桐生特有の路地の魅力を醸し出しています。新しい建造物と懐かしさを感じさせる年代物とが複合的に、多様に共存するまち、そして生活者の息吹が感じられるまち。それが桐生らしさとして、専門家からも高く評価されています。

わたしたちのまち・桐生に特有の都市風景をいかに守り、発展させていくか。ファッションタウンを目指すわたしたちの大きな課題であり、使命です。

ここにファッションタウン桐生推進協議会では、「わがまち風景賞」を創設いたしました。

この賞は、桐生市の個性あるまち風景を形成している建造物や空間等のうち、特に良質な風景を創出しているものを表彰し、まちなみの保存と活用、ならびに市民の都市風景に対する意識の高揚に寄与することを目指すものです。

同時に、特に良質な都市風景を損なうものについてはそれを指摘し、改善を要望して、ともに桐生のまちづくりに貢献していきたいと考えています。

2006わがまち風景賞

審査委員会委員並びにプロジェクトメンバー（順不同・敬称略）

審査委員会委員

伊達美德（委員長・都市計画家・伊達計画文化研究所代表）

山口正夫（ファッションタウン桐生推進協議会前運営委員長）・山口一郎（群馬大学工学部教授）

丸尾康弘（彫刻家）スティール・ミッシェル（英語講師）・鈴木正三（桐生市文化協会事務局長）

久保田恵美子（桐生短期大学教授）・島崎憲司郎（毛鉤作家）・利根川泉（写真家）

松井裕（桐生市都市計画課課長補佐兼まちづくり推進係長）

赤池孝彦（美術作家・桐生森芳工場運営委員）・山田耕司（わたらせフィルムコミッション代表）

齋藤千江（群馬県女性建築士協会桐生支部長）・武井直美（カラーコンサルタント）

岡野琢磨（BLIC BLOC PLUS店長）・町田悦子（桐生市議会議員）

岩崎正徳（桐生市新里支所地域振興課次長）・茂木徳造（NPO法人新里昆虫研究会副理事長）

小島杏奈（桐生短期大学学生）・石川真帆（桐生工業高校学生）

プロジェクトメンバー

佐々木正純・川口貴志・佐藤昌子・大里仁一・池田泰子・北村隆・角田晃嗣・蓑崎昭子・大澤栄子

山田智津子・橋本迪弘・箸本ひろ美・近藤圭子・小池文司・斉藤礼子・星野尚香

北川紘一郎